

各位

2025年2月17日
株式会社ROBOT PAYMENT

ROBOT PAYMENT、商取引の社会課題解決に向け、 慶應義塾大学 岩尾俊兵准教授と共同研究を開始

決済インフラを基盤として、コア事業の深耕とサプライチェーンや
未収金督促など、事業ポートフォリオの拡大を目指す

株式会社ROBOT PAYMENT(本社:東京都渋谷区、代表取締役:清久 健也、証券コード:4374、以下「当社」)は、慶應義塾大学商学部の岩尾俊兵准教授(以下、「岩尾准教授」と)と、共同研究を開始します。当社は、創業以来、決済代行サービスや請求・債権管理システムなど、決済インフラを基盤として企業のお金まわりの課題を解決してきました。しかし、依然として、当社が解決を目指す商取引を阻む社会課題、「慣習」「非効率」「与信」の壁が日本企業の成長を阻害する要因となっています。これらの壁を壊すため、社会課題解決型の共同研究を推進し、コア事業の深耕とサプライチェーンや未収金督促などの事業ポートフォリオ拡大を通じて、日本企業の競争力強化を目指します。

ROBOT PAYMENTと慶應義塾大学 岩尾准教授、共同研究を通して
決済インフラを基盤として、コア事業の深耕と事業ポートフォリオの拡大を目指す



慶應義塾大学
岩尾俊兵准教授

共同研究の概要

本共同研究では、当社がCorporate Purpose Statementで掲げ、解決を目指している商取引を阻む「慣習」「非効率」「与信」といった社会課題に対し、岩尾准教授のビジネス・ファイナンス分野における豊富な知見と、当社が長年培ってきた実務経験を融合させた共同研究を推進します。

具体的には、以下のテーマについて研究を進めてまいります。

- サプライチェーンファイナンスにおけるファクタリングの役割と最適設計
- 行動科学に基づく効果的な未収金督促戦略の研究
- 掛け払いにおける与信リスク評価の高度化と不正検知モデルの開発 など

期待される効果

本共同研究を通じて、ROBOT PAYMENTは、既存事業の提供価値を拡大するとともに、新たな市場機会を創出することを目指します。例えば、革新的な資金繰りスキームやシステム化によって企業の資金調達を円滑化し、事業成長を支援したり、与信判断の高度化によって、より多くの企業が適切な取引機会を得られるようにすることで、日本経済の再活性化に貢献していくことを目指します。

ROBOT PAYMENTは、本共同研究を通じて、社会課題解決型の研究開発を推進し、商取引の未来を創造してまいります。

慶應義塾大学 岩尾俊兵 准教授について



東京大学大学院経済学研究科マネジメント専攻博士課程修了、東京大学博士(経営学)第一号、明治学院大学経済学部国際経営学科専任講師、東京大学大学院情報理工学系研究科客員研究員、慶應義塾大学商学部専任講師を経て、2022年より同学部准教授。2024年よりTHE WHY HOW DO COMPANY株式会社 代表取締役社長。第73回義塾賞、第37回組織学会高宮賞著書部門、第36回組織学会高宮賞論文部門、第22回日本生産管理学会賞理論書部門、第4回表現者賞等受賞。著書に『日本企業はなぜ「強み」を捨てるのか』(光文社新書、近刊)ほか多数。

株式会社ROBOT PAYMENT 会社概要

社名 : 株式会社ROBOT PAYMENT(東証グロース:4374)
所在地 : 東京都渋谷区神宮前6-19-20 第15荒井ビル4F

設立 : 2000年10月
代表 : 代表取締役 清久 健也
企業サイト : <https://www.robotpayment.co.jp/>
サービス一覧 : <https://www.robotpayment.co.jp/service/>

▼メールマガジン・LINE公式アカウントで各種情報を配信しています

メールマガジン

- ・すべての適時開示・PR情報をリアルタイムにお知らせ
- ・登録はこちら: <https://www.magicalir.net/4374/mail/>

LINE公式アカウント

- ・主要ニュースリリース(解説コメント付き)、イベント案内・セミナー出演のお知らせ等
- ・IR担当者とチャットで質問・お問い合わせのやりとり
- ・登録はこちら: <https://lin.ee/keiczv9>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ROBOT PAYMENT
担当者: IR室 菊地
tel: 03-5469-5780 mail: ir@robotpayment.co.jp